

(変更1回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和8年7月9日
契 約 業 者 名	五洋建設株式会社 中国支店
契 約 業 者 の 住 所	広島市中区上八丁堀4番1号
工 事 の 名 称	浜田港福井地区防波堤(新北)築造工事(その2)
工 事 場 所	浜田港福井地区
工 事 種 別	港湾土木工事
工 事 概 要 (変更した内容)	別添工事数量総括表のとおり
工 期 (自)	令和8年2月12日
工 期 (至)	令和8年11月27日
変更前の契約金額 (税 込)	¥398,970,000
変更金額(税込)	¥62,700,000
変更後の契約金額 (税 込)	¥461,670,000.-
変 更 理 由	別添変更理由書のとおり

工事数量総括表

工 事 名	浜田港福井地区防波堤(新北)築造工事（その２）（変更1回）					事業区分	港湾整備
						工事区分	防波堤
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要	
防波堤（新北）							
構造物撤去工							
撤去工							
ブロック撤去							
	被覆ブロック①（ストーンブロック20 t 平型）	原契約のとおり					
	被覆ブロック②（ストーンブロック8 t 平型）						
	根固ブロック（無孔型）						
	根固ブロック①（有孔型）						
	根固ブロック②（有孔型）						
基礎工							
基礎捨石工							
基礎捨石	200～500kg/個	m3	2,522	2,485	△ 37		
捨石本均し	±5cm	m2	806	795	△ 11		
捨石荒均し（機械均し）	平面部、±30cm	m2	588	485	△ 103	10m未満	
捨石荒均し（人力均し）	平面部、±30cm	m2	0	77	77	10m未満	
	法面部、±30cm	原契約のとおり					
	法面部、±30cm	m2	330	334	4	10m未満	
	平面部、±50cm	原契約のとおり					
	法面部、±50cm						
	法面部、±50cm						
本体工（ケーソン式）							
ケーソン進水据付工		原契約のとおり					
中詰工							
中詰	銅スラグ 24kN/m3	m3	3,115	3,115	0	瀬取り投入	
中詰均し		原契約のとおり					
蓋コンクリート工							
被覆・根固工							
被覆石工							
被覆ブロック工							
被覆ブロック据付	被覆ブロック②	個	66	116	50	支給材料	
	被覆ブロック②	原契約のとおり					
根固ブロック工							
根固ブロック据付	根固ブロック	個	1	1	1	流用材、吊環設置	
	根固ブロック①	原契約のとおり					
	根固ブロック②						

工事数量総括表

工 事 名	浜田港福井地区防波堤(新北)築造工事（その2）（変更1回）					事業区分	港湾整備
						工事区分	防波堤
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要	
上部工							
上部コンクリート工							
支保	}						
足場							
型枠(1)							
型枠(2)							
コンクリート							
伸縮目地	}						
中詰観測孔							
差筋		kg	0	629	629	672本	
消波工							
消波ブロック工							
消波ブロック据付	テラボット 80t型	個	20	83	63	流用材	
共通仮設							
共通仮設費							
回航・えい航費	}						
運搬費							
事業損失防止施設費							
汚濁防止膜	垂下型H=4.0m以上 φ300連続フロート	式	1	1	1	設置・管理・撤去 80m	
安全費							
標識							
安全対策	安全監視船	式	1	1	1		
役務費							
係船料		式	1	1	1		
測量業務							
マルチビーム測深	}						

変 更 理 由 書

1. 工 事 名 浜田港福井地区防波堤(新北)築造工事(その2)
2. 工 期 令和8年2月12日～令和8年11月27日
3. 請 負 金 額 当 初 398,970,000円
4. 変 更 理 由

本工事は、浜田港福井地区防波堤（新北）の構造物撤去工、基礎工、本体工（ケーソン式）、被覆・根固工、上部工及び消波工を施工するものであるが、今般、以下の理由により設計図書を変更する必要が生じた。

- 1) 上部工：上部コンクリート差筋の追加
設計照査の結果、必要な上部コンクリート差筋を追加する。
- 2) 被覆・根固工：既設根固ブロック復旧費用の追加
既設根固ブロック吊環の腐食による破損が確認されたため、復旧に要する費用を追加する。
- 3) 本体工（ケーソン式）：中詰材投入方法の変更
ガット船による中詰材の直接投入が不可能であることが判明したため、中詰材の投入方法を変更する。
- 4) 基礎工：起工測量結果に基づく施工数量の変更
起工測量の結果を踏まえ、基礎捨石の施工数量を変更する。
- 5) 被覆・根固工、消波工：起工測量結果に基づく施工数量の変更
起工測量の結果を踏まえ、被覆ブロック及び消波ブロックの施工数量を変更する。